

なかとさちょう

中土佐町

鯉乃國の物語 鯉一本釣りの町おこし



鯉の一本釣り



漁師町の風情を感じさせる港風景



四万十川と広がる農地

【問い合わせ先】
中土佐町 水産商工課 TEL0889-52-2473

四〇〇年以上前から続く鯉漁の町。漫画家青柳裕介氏の「土佐の一本釣り」の舞台となった町でもある。平成四年より「鯉」を主人公にしたまちづくりに取り組み、温泉宿泊施設、鯉のタタキづくりの体験施設、鯉のあらで育てた苺を使ったケーキショップを建設。町内外から多くの人が訪れている。また毎年五月の第三日曜日は「かつお祭」が催され、町の人口を大きく上回る一万八千人の人数に出でにぎわう。中土佐町久礼の港と漁師町の景観は、平成二十三年二月には漁師町として全国で初めて「重要な文化的景観」として文化庁の選定を受けた。

【問い合わせ先】
中土佐町役場 水産商工課 TEL0889-52-2473



鯉わら焼きタタキ



本流一番目「高樋の沈下橋」

四万十源流の里 四万十川と共に 生きてきた人々

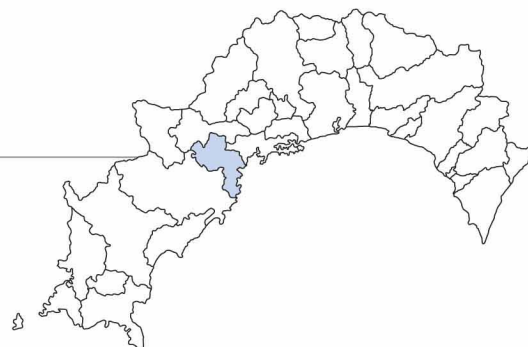
四万十川の源流域に位置する中土佐町大野見地区。四万十川の清流は、ひとたび大雨となると、暴れ川と化す。人々は水の恵みと脅威と共に生きてきた。この地には本流一番目から三番までの沈下橋がかかり、四万十川添いには先人の開拓した豊かな農地が広がっている。豊かな台地は良質の米の産地であり、山は四万十桜を生む。平成二十二年二月には大野見地区の四万十源流域は国の重要な文化的景観としての選定を受けた。



くれ坊

DATA

総人口 7,960人
世帯数 3,584世帯
面積 193.40km²
人口密度 41.16人/km²



高知県・中土佐町